

感染症情報 6月12日～18日

府下小児科200療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1695例(堺市	61例)
②手足口病	888例(堺市	47例)
③溶連菌感染症	743例(堺市	56例)
④咽頭結膜熱	203例(堺市	14例)
⑤ヘルパンギーナ	172例(堺市	8例)

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	41例(堺市	5例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週から11.6%増の4,045件であった。報告の第1位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、溶連菌感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順であった。

1位の感染性胃腸炎は府下で前週比13%増、堺市では前週比16%減であった。2位の手足口病は府下で前週比20%増、堺市で18%増であった。定点当たりの報告数は前週3.7→今回4.4でさらに増加している。溶連菌感染症は府下で前週比6%増、堺市で30%増であった。咽頭結膜熱は府下では前週比7%増、堺市で前週12例→今回14例であった。ヘルパンギーナは府下で前週比23%増、堺市で前週3例→今回8例であった。

インフルエンザは府下では前週43例→今回41例であった。堺市では前週11例→今回5例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。